



教育視点で「いじめ」「教育格差」「性教育」を題材に ～日本で数少ない「子ども向け」の実写映画を届けたい～

子どもによる、子どものための映画。

# ボクらの映画

## 劇場公開作品

子どもがメインの短編3作品のオムニバス映画!

『ボクらの映画』は、演技スクール ACT 芸能進学校 (A 芸) 製作の短編映画三作品から成る、短編オムニバス映画。映画監督、演技講師として、子どもたちの指導に携わってきた三監督が「子どもたちに伝えたいこと」を作品に込めて、脚本からオリジナルで映画を作り上げました。



世代を超える  
一歩を踏み出す物語

うちのじいじは字が書けない

出演：鹿野瑠南 京野璃乃 上田怜歩那 林田美優嘉 芋生悠 堀田真三

監督：諸江亮 制作：アイエス・フィールド

15分

勉強嫌いな小5の香葉は、じいじがちょっと苦手。いつも「宿題、終わったか?」とロウるさいから……。ある日、香葉はじいじの書いた手紙を見て驚く。まともに字を書けないじいじを、香葉は馬鹿にして無視する。しかし、じいじが字を書けない理由を知った時、香葉は辞書を片手にじいじの手紙と向き合い始める。

いじめとホンネに  
寄り添う物語

超能力がほしい

出演：青木南乃 なゆた 北林茉莉 福永煌 藤野優光 鹿野瑠南 山本しずく 山本いずみ 矢部俐帆 岡本陽人 佐伯日菜子

監督・脚本・美術・編集：菱沼康介

25分

小5のユツキは、親友のニチカに「わたしも超能力がほしい」と話す。するとニチカは「わたし、超能力あるよ」と返した。そのやりとりは、ユツキの弟、級友のミズエ、ユウキラを巻き込んで、思わぬ波紋を巻き起こす。はたしてユツキが超能力を欲しがった理由とは?



“大人になること”に  
向き合う物語

アレっ!

出演：隆成 廣瀬司 及川欽之典 水戸虹一輝 松藤史恩 琉愛 松島由菜 堰沢結衣 来夢 矢部玲奈 村内唯花 保田賢也 東景一朗 川村那月

監督・脚本・編集：八重樫風雅

21分

公園のトイレで未開封のコンドームを発見した男子中学生の肇(はじめ)。好奇心と勢いでついポケットに突っ込んでしまったが、通う塾の女性講師の白沢に見つかってしまう。中学生にはまだ、子供にはまだ、と諭す白沢に肇が問う。“じゃあ僕が、大人になるのはいつですか——。”



オンライン・アクターズ・スクール  
ACT 芸能進学校

定価：18,000円(税抜)

利用範囲：上映、館外、館内

製作・配給：ACT 芸能進学校 © ボクらの映画 2022



お問い合わせ先

TEL：03-5793-5820 FAX：03-5449-0861

HP：<https://www.business-dvd.jp/>

〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号 目黒セントラルスクエア 8階



『ボクらの映画』公式ページ